

陽気な国・メキシコ



3月14日(土) 大津茂公民館において、国際理解出前講座「陽気な国・メキシコ」を開催しました。講師は、メキシコ・ベラクルス出身のアナロサ アレンド ゴンザレス デ 黒川さんです。講座の最初に、ユーモアたっぷりにご自身の名前について説明をされました。メキシコでは、自分の名前、父親の名字、母親の名字が正式な名前となるそうです。



まず、メキシコの歴史・概要から始まって、遺跡、料理、スポーツ、音楽など、盛りだくさんの内容の講座でした。料理や市場の様子はとても色鮮やかで、日本との違いに皆さん驚いておられました。音楽は、「マリアッチ」という楽しいリズムカルなもので、聞いた瞬間にメキシコの音楽と分かるそうです。講師のアナロサさんは、今にも踊りだしそうな様子でした。

違いの多いメキシコと日本ですが、「死者の日」と呼ばれるメキシコ版のお盆は、日本のお盆と考え方がとても似ているそうです。メキシコで生まれ育ち、日本で長く生活されているアナロサさんは、最後に「メキシコから日本に来て、改めてメキシコ人としての誇りを感じました。また、日本の文化のすばらしいところもわかりました。みんな自分の国に誇りを持ちながら、お互いの文化を理解し合えたらいいと思います。」としめくくられました。

参加者の方は、「メキシコのことごとくよく分かって、よかったです。」と感想をおっしゃっていました。



国際理解出前講座

公益財団法人 養育市文化国際交流財団

<講師のアナロサさん>

メキシコの食べ物といえば…「タコス」!

